

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市公議員

No.1192

18.3.13

2月定例会市議会報告



今週はローリングウィーク並みに暖かいとの天気予報です。2月定例会市議会は、12日(月)管轄が終わり、予算審査の常任委員会に移ります。本日は、8日(木)の私、ひめだの一般質問の報告です。

まち美化について

和歌山市の美化
現状と課題は？

私、ひめだの一般質問の一つめは、まち美化についてです。市役所に来るときに長屋門が修整され整備された岡公園の東側を通過するが、その道の側溝に雑草が生えタバコの吸い殻などのゴミが落ちています。

他市からの観光客が通る道でもあり、前から気になっていた。私が議員になった翌年の1992(平成4)年に「ポイ捨て条例」(和歌山市美化推進及び美観の保護に関する条例)が全国に先駆けて制定されました。

また、主要幹線道路や都市公園と一部の児童遊園は清掃業務を委託していること。その他の道路や公園の雑草やゴミは市民や地

た。条例制定後25年過ぎて、和歌山市は美しくなったのか、美しくないとするれば、要因は何かということを柱に質問しました。

ポイ捨て条例制定後「万人大清掃」を始め市民に定着したと、歩道などにポイ捨てされているゴミ等は、美化清掃業務を委託し市内全域を巡回しながら回収を行い、ゴミ等の量は条例施行前に比べ、6分の1に減少しているといいますが、担当者の答弁です。

元の要請が受け、職員や業者を対応してもらえなかったことです。ゴミをポイ捨てさせないためにも、しっかりは組みを市民に広く知らせることを求めました。

今週のフツのん

(その138)

アベ政権は退陣すべき

「働き方改革」のデー々ねつ造発覚で裁量労働制の対象抗大部分を削除したアベ政権に、今度は「森友問題」の国有地売却に関する公文書が国会に提出される段階で改ざんされたことが明らかになりました。「森友問題」でアベ首相は「自分も毒も価格交渉にいいい関与していない。そして事実があらば首相はもとより、議員を辞める」

と国会で大見得を切りました。これは当事者の籠池さんの国会証言と大きな落差があり、財務省がアベ夫妻の関わりを「一度した特例だった」と考えるのが一般的だと言えらるでしょう。

賢いハズの国の役人がなんで、すぐにべらることをしたのか不思議ですが、そんな圧力をかけて事実を正めなければならぬアベ政権は、今すぐ退陣すべきです。

フツのん



<975>



こんなんどいぢいぢいぢい大臣のせいで、フツのんがなくなりました



大臣の任命責任を問われるのも、フツのんも...



文書改ざん大臣を新設するのモ、フツのんはここか



グットアイデア、初代大臣はサガワ君が適任かと



ひめだ高宏

ひとりぼっちの高齢者をなくそう!

第12回 和歌山市高齢者大会

3月23日(金) 13:30~15:30

中央コミュニティーセンター 700ガラム コーラス

14~15 記念講演 和歌山大学名誉教授 堀内秀雄

旧ほづら荘機能の再生

私、ひめだの一般質問の2つめは、旧ほづら荘機能の再生についてです。

新和歌浦にあった旧ほづら荘は、お風呂や大広間があり玉突きなどができました。大広間では囲碁や将棋、カラオケなどもできました。高齢者は無料で使えたので結構、人気があった施設でした。老朽化を理由に後の計画も考えず、前市

長が取り壊しました。市は跡地を有料で貸し出し、そこに風呂や貸部屋をつくることを条件に、あとは自由になんでもやればというふうなことで事業者を公募しました。風景は良いが、交通の便は悪く繁華街でもないため応募者がなく、この計画は消えてしまいました。尾花市長のもとで、西浜の中央卸売市場の建替え時

に道の駅をつくり、そのなかで旧ほづら荘機能が再生されるという話がありました。どんな施設をどのようにつくろうかと考えているのか市長に質問しました。市長は、「ほづら荘は役割を終え浴場及び集会所機能は継続して議論する」と述べ、「国の補助事業の実施主体は民間事業者だ」と答弁。どんな施設をつくるか決める前に補助メニューに合わせることは本末転倒です。

「ふるさと」が 松坂みち子です

フクシマ

3・11から7年。福島県発表でもいまだに5万人もの人が避難生活を強いられています。昨年、帰還困難区域以外の自治体で避難指示が解除さ

れ、元の自治体での暮らしが始まっていますが、帰還率は平均15%、原形に近い町では3~4%とか。7年もたてば、避難先での「ミニユニテ」もできるでしょうし、何より大丈夫と言われなくても子どもを連れての帰還に踏み切れない方も多いのではないかと思います。先日、「自主避難」して

いる母子に寄り添っている方の話を聞きました。今「語り」に「心」がある「戻らないのが非国民」という雰囲気があるという話に、今の社会の怖さを感じました。



松坂みち子 (県議予定候補)

潮流

(18.3.13日刊赤旗)

「こころは学校のこころで、いろいろこころが生まれる」という話がありました。昨年11月、民間団体のシンポジウムでその口にして会場の笑いを誘ったのは安倍首相夫人の昭恵氏でした。▼森友学園への国有地払い下げ。それに関与した疑いから迷ったと思ったのが、軽口をたたいた余裕さえみせました。しかし、ここにきて疑惑は一段と色濃く。改ざんされる前の財務省の決裁文書に名前がはっきりと記されていきました▼当時、学園の籠池理事長との打ち合わせの際に「安倍昭恵総理夫人を現地に案内し、夫人からは『いい土地ですから、前に進めてください』とのお言葉をいただいた」との発言があった。理事長と昭恵氏が現地を並んでいる写真も提示された▼財務省の調査では森友問題が国会で追及された去年の2月以

降、14の文書で数十カ所にかたまる書き換えがあったといえます。削られた部分から浮かび上がるのは8億円の値引きをした異常な価格交渉や、昭恵氏をはじめとする政治の関与です▼麻生財務相は一部の役人に責任を押し付けて幕を引こうとしていますが、これは一國の首相にかかわりません。教育勅語を園児に唱和させる学園の教育を夫事とするたたえ、昭恵氏は問題の新設予定小学校の名誉校長にも▼なぜ公文書を偽造したのか。だがが指示したのか。法を犯してまで何を守ろうとしたのか。この問題では学園との交渉を担当した近畿財務局の職員が、みづから命を絶っています。国民を欺きつづけ、人を壊していく。その罪のなんと重きことよ。

直ぐ定例会議で報告する
赤旗 日刊紙 823頁
3.4.7日刊紙